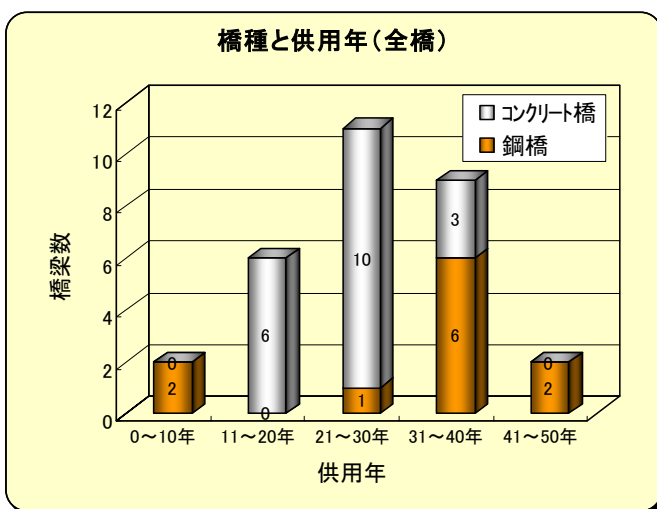
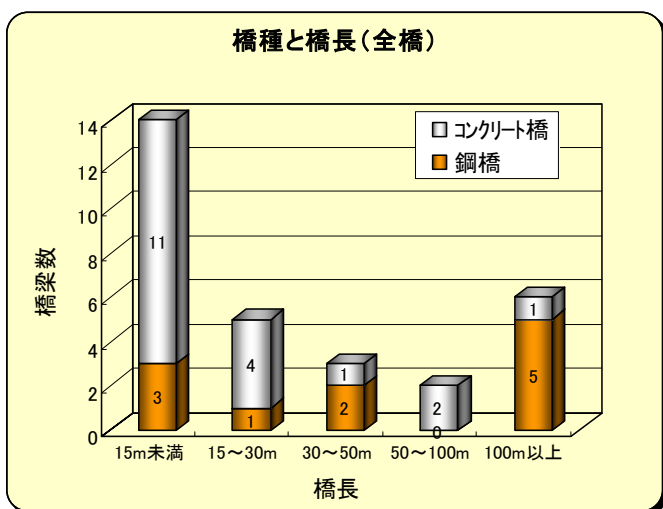
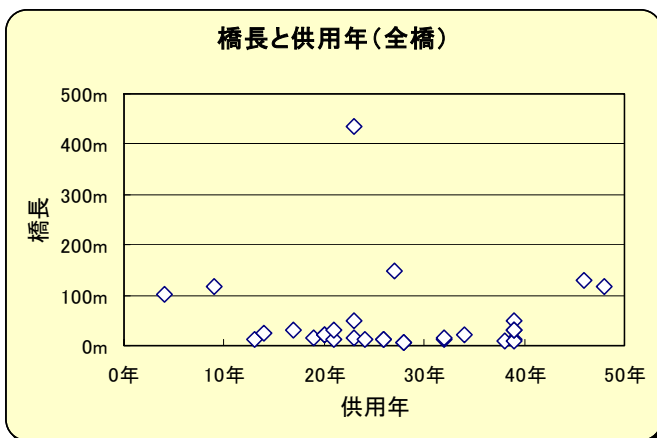
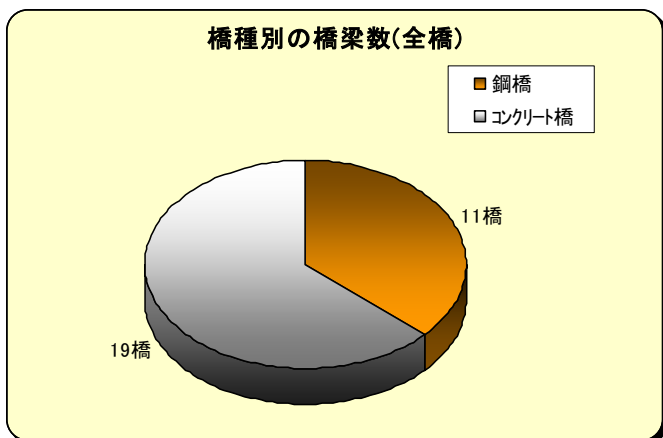


I. 点検した橋梁の概要

- ・点検した30橋のうち、鋼橋は11橋、コンクリート橋は19橋であり、コンクリート橋が63%を占める。
- ・橋長は15m未満が14橋、15m以上が16橋であり、100m以上の長大橋が6橋ある。
- ・供用年は10年以下の新しい橋梁が2橋で、20年以上の橋梁が半数以上を占める。
- ・橋種別の供用年では、コンクリート橋が10~30年程度であるが、鋼橋は30年以上の比率が大きい。



橋種と橋長(全橋)

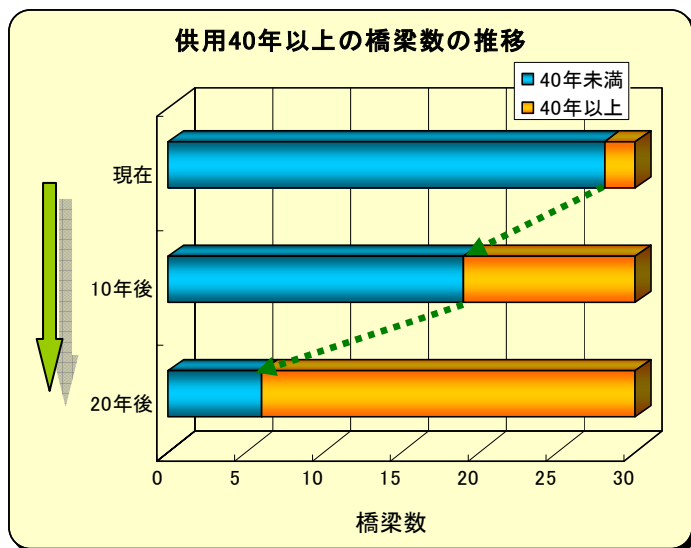
	15m未満	15~30m	30~50m	50~100m	100m以上	合計
鋼橋	3	1	2	0	5	11
コンクリート橋	11	4	1	2	1	19

橋種と供用年(全橋)

	0~10年	11~20年	21~30年	31~40年	41~50年	合計
鋼橋	2	0	1	6	2	11
コンクリート橋	0	6	10	3	0	19

Ⅱ. 供用40年以上の橋梁数の推移

- ・ 供用40年以上の橋梁は現在2橋であるが、10年後には11橋、20年後には24橋と増加する。
- ・ 20年後には80%の橋梁が供用40年以上と高齢化する。



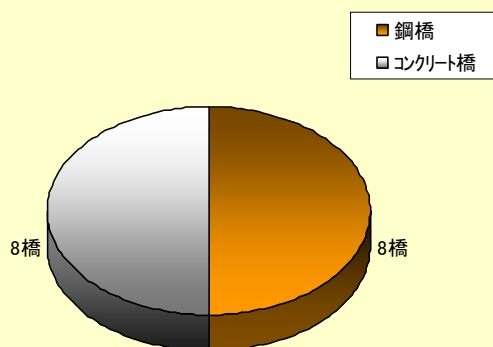
供用40年を超える橋梁数の推移

	現在	10年後	20年後
40年未満	28	19	6
40年以上	2	11	24

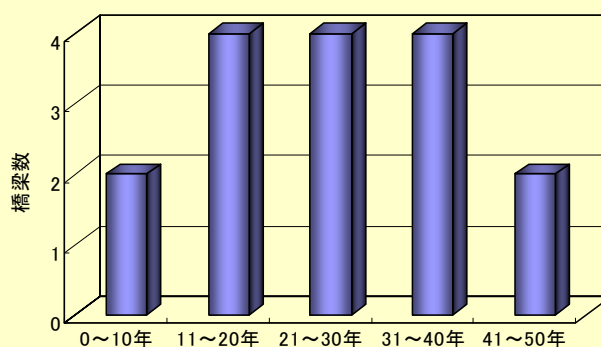
Ⅲ. 橋長 15m 以上の点検結果

- ・橋長 15m 以上の橋梁は、コンクリート橋、鋼橋ともに 8 橋ずつである。
- ・供用年は 11 年から 40 年までに多くが存在し、ばらつきは少ない。
- ・点検による判定区分では、追跡調査が必要な [c] ランクの橋梁がもっとも多く、補修の要否の検討が必要な [d] ランクの橋梁が 5 橋存在する。

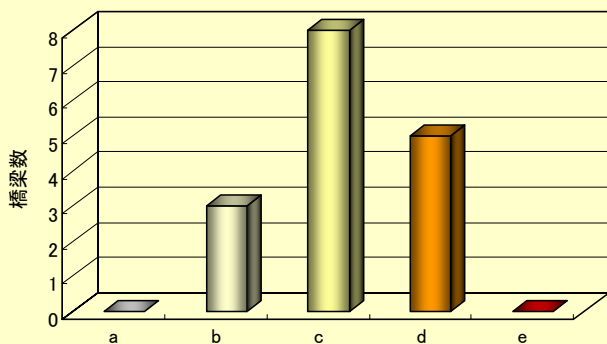
橋種別の橋梁数(15m以上)



供用年ごとの橋梁数(15m以上)



判定区分ごとの橋梁数(15m以上)



橋種別の橋梁数 (15m以上)

	鋼橋	コンクリート橋	合計
橋梁数	8	8	16

供用年ごとの橋梁数 (15m以上)

	0~10年	11~20年	21~30年	31~40年	41~50年	合計
橋梁数	2	4	4	4	2	16

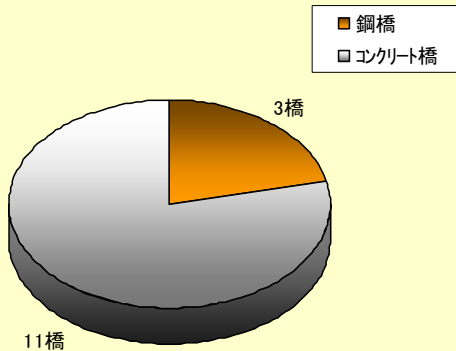
判定区分ごとの橋梁数 (15m以上)

	a	b	c	d	e	合計
橋梁数	0	3	8	5	0	16

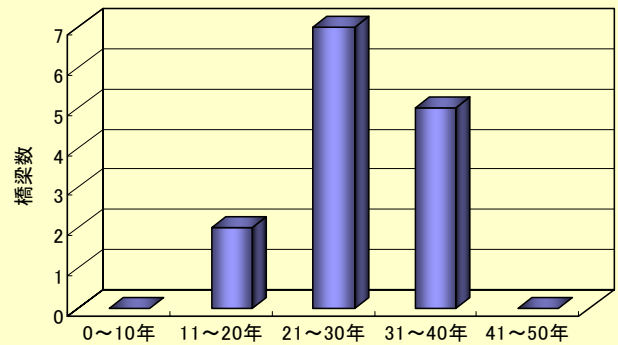
IV. 橋長 15m 未満の点検結果

- ・ 橋長 15m 未満の橋梁は、コンクリート橋 11 橋、鋼橋 3 橋と、コンクリート橋が 8 割を占める。
- ・ 供用年は 21 年以上が 12 橋と 8 割以上を占める。
- ・ 点検による判定区分では、追跡調査が必要な [c] ランクと補修の要否の検討が必要な [d] ランクの橋梁が 7 橋ずつ存在する。

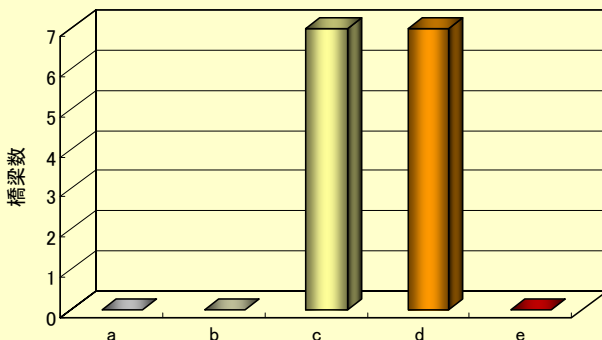
橋種別の橋梁数(15m未満)



供用年ごとの橋梁数(15m未満)



判定区分ごとの橋梁数(15m未満)



橋種別の橋梁数 (15m未満)

	鋼橋	コンクリート橋	合計
橋梁数	3	11	14

供用年ごとの橋梁数 (15m未満)

	0~10年	11~20年	21~30年	31~40年	41~50年	合計
橋梁数	0	2	7	5	0	14

判定区分ごとの橋梁数 (15m未満)

	a	b	c	d	e	合計
橋梁数	0	0	7	7	0	14